

原発避難受け入れ計画進まず

09月19日 13時06分



島根県は来月、島根原子力発電所で重大な事故が起きたという想定で住民が広島県や岡山県に広域避難する訓練を初めて行います。その一方で、避難者を受け入れる両県の市町村のほとんどで、受け入れの計画づくりが進んでいないことが島根県の調査でわかりました。

島根原発で重大事故が起きた場合に備えて、島根県は広島県や岡山県と避難者の受け入れに関する協定を結び、両県の49の市町村にあわせて27万人の避難者を受け入れてもらうことを想定しています。

島根県は来月、原発で重大事故が起きた想定で松江市の住民が両県に避難する訓練を初めて行うことをふまえ、ことし5月に、両県の市町村が受け入れ計画や避難所の運営マニュアルを作成しているかをアンケートで尋ねました。

その結果、広島県では2つを除く20の市や町で、岡山県では27すべての市町村で計画やマニュアルを作成できていないことがわかりました。

アンケートのなかでその理由について複数回答で尋ねたところ、「優先すべきほかの業務への対応がある」とか、「原子力防災対策の知識が不足している」といった回答が寄せられたということです。

国が、おととしとりまとめた原子力災害が起きた際の避難者の受け入れに関する指針では、「受け入れる自治体は具体的な手順などをマニュアルなどで定めておくことが必要だ」としていて、島根県もことし3月、両県の市町村に向けて受け入れ態勢の構築や避難所の運営に関する指針を作っています。

島根県原子力安全対策課は、「今後、それぞれで計画の策定が進むことを期待している。来月の訓練では島根県が作った指針を参考に避難者を受け入れる手順を確認してもらいたい」としています。

シェアする  

島根のニュース

[島根では石破氏が約7.7%得票](#) 9月20日 19時07分 [秋の交通安全運動前に出発式](#) 18時00分 [全中柔道優勝選手が優勝報告](#) 19時16分 [中学校の登り窯で生徒が窯出し](#) 19時16分 [島根ワイナリー 銀賞受賞](#) 9時45分 [日銀 豪雨影響緩和で判断上げ](#) 9時45分 